

# 会 議 録

## 1 会議名

第4回なおえつ うみまちアート実行委員会

## 2 議題（全て公開）

- (1) 作品の制作状況について
- (2) イベント・ボランティア情報について
- (3) 広報媒体の作成状況等について
- (4) 予算の執行見込みについて

## 3 開催日時

令和3年7月15日（木）午後1時30分から午後3時10分まで

## 4 開催場所

レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数（取材）

4人

## 6 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：山田知治、新井康祐、濱口剛、川上宏、久保田幸正、五十嵐史帆、  
笠原勇氣、三木公一、彦坂薫、石川清春（代理 大塚啓）
- ・事務局：頸城自動車株式会社：小山祐子、株式会社良品計画：古谷信人  
企画政策部：池田浩、小林古径記念美術館：宮崎俊英  
キュレーター：鈴木潤子
- その他 上越市、頸城自動車株式会社 職員

## 7 発言の内容

### 【志賀参事】

- ・会議の開会を宣言

### 【山田会長】

- ・開会にあたり挨拶

- (1) 作品の制作状況について

### 【鈴木キュレーター】

- ・資料1「なおえつ うみまちアート 作品概要」に基づき、アーティストによる作品プラ

ンの説明及び制作状況を説明。

#### 【五十嵐委員】

- ・ G E L C H O P の作品を寄付する話はどうなっているか。

#### 【志賀参事】

- ・ G E L C H O P の作品を欲しい方から作品ごとに設定した額で寄付をいただき、作品を会期後にお渡しする形を考えている。
- ・ 寄付先は、現在調整中であるが、作家やキュレーターと相談し、直江津のまちづくりに取り組んでいる直江津まちづくり活性化協議会に窓口を担っていただきたいと考えている。

#### 【鈴木キュレーター】

- ・ 作家のアップサイクルの考え方は、作品によって利益をあげるのではない。地域において、経済的な循環を生み出すというものである。いただいた寄付は、まちづくりやものづくりのほか、教育などに役立てていくための方法を作家と検討している。
- ・ また、アップサイクルの考え方を文章として会場に掲示することで、皆さんから参画いただきやすい仕組みを考えている。

#### 【大塚委員】

- ・ G E L C H O P 以外の作品は、会期後に全て撤去されるのか。全て撤去された場合、このようなイベントが行われたことが直江津に残らないのではないのか。
- ・ 一部の作品を残し、それが来年度以降も継続して少しずつ積み重ねていくことができれば、この取組自体が恒例となっていくと思うが、そのような見通しはあるのか。

#### 【志賀参事】

- ・ 当初は、大地の芸術祭のように作品を残すことも検討していたが、本事業の目的が現代アート作品を通じて直江津のまちを見てもらい、知ってもらうこととしており、現段階では作品を残すことは考えていない。
- ・ G E L C H O P の作品は先程説明した仕組みを通じて、一部地域に残ることとなるが、他の作品の今後の見通しについては、残すことをお約束できない。

#### 【鈴木キュレーター】

- ・ 作家としては、皆さんとの思い出も重要であると考えており、現在考えているイベント以外でも地域の皆様とご一緒できる機会を検討している。
- ・ 作家と皆さんが触れ合う経験が、地域の皆様の人生を豊かにすることになると信じて取り組んでおり、物として残すことは難しいが、皆さんの心の中に残せていけたらよ

いと考えている。

## (2) イベント・ボランティア情報について

### 【志賀参事】

- ・資料 2-1「イベント情報」に基づき、開催予定のワークショップのほか、互の市アートマルシェ、青年会議所主催のワークショップ等について説明。

### 【笠原委員】

- ・ワークショップについて、チラシとホームページで募集するとのことだが、人数が少ないのではないか。

### 【志賀参事】

- ・新型コロナウイルスへの対応として、募集人数を絞った上で、先着とさせていただいている。

### 【五十嵐委員】

- ・明日から小学校にチラシを配布するとのことだが、先着順とした場合に、学校毎に届くまでに時間差が生じるのではないか。

### 【志賀参事】

- ・直江津地域の4つの小学校をチラシ配布の対象としているので、時間差は大きくないと考える。

### 【五十嵐委員】

- ・市内全域の小学校に配布しないのか。

### 【志賀参事】

- ・市内全域にはホームページで周知を行い、直江津地域にはチラシを用いて丁寧に周知する。募集人数も限られているため、チラシ配布を4つの小学校に限定するのは致し方ないと考えている。

### 【志賀参事】

- ・資料 2-2「オープニングセレモニー」に基づき、セレモニーの内容について説明。
- ・資料 2-3「ボランティアの募集について」に基づき、募集内容について説明。

### 【新井副会長】

- ・インフォメーションセンターのボランティアについて、直江津のことをわかる人をお願いしたいとのことだが、商店街の方をお願いするということか。

**【志賀参事】**

- ・インフォメーションセンターは、直江津を紹介するパンフレットの配置、作品会場の説明などを行う機能を想定している。商店街の方ではなく、ボランティアの方に地域のことを学んでいただきながら、一緒に取組んでもらいたいという意味で説明を申し上げた。
- ・商店街の方から応募いただければ、大変ありがたいが、強制ではないことをご理解願いたい。

**【五十嵐委員】**

- ・ボランティアの募集は、どのように行うのか。

**【志賀参事】**

- ・ホームページのみで行うこととしており、明日16日にホームページを公開する。

**【志賀参事】**

- ・今後、地域から独自の取組が生まれた時、後援の依頼が想定される。その都度、実行委員会を開催することはできないため、内容によっては会長及び副会長に相談しながら事務局において、後援するか否かを決定してよいか伺いたい。

**【新井副会長】**

- ・内容に応じて、事務局で決定して構わないが、結果を委員の皆さんに情報を共有してほしい。

(3) 広報媒体の作成状況等について

**【志賀参事】**

- ・資料3-1「サイン・リストバンド」、資料3-2「ガイドマップ」、資料3-3「各種メディアの掲載状況一覧」に基づき、各種媒体の作成状況等について説明。

**【笠原委員】**

- ・ポスターを発送するとのことだが、提供してもらえるのか。また、学校にも配るのか。

**【志賀参事】**

- ・今は市外向けに発送準備を進めているが、順次商店街の皆様や学校にもお渡ししたいと考えている。

**【笠原委員】**

- ・ガイドマップについて、もう少しランドマークを入れてほしい。

**【志賀参事】**

- ・既存のアート作品をマップに落としした上で、神社仏閣も入れようとしたが数が多く選別ができないため、上越観光NAVIにあるものに限定した。一方で、飲食店やお土産屋は直江津まちづくり活性化協議会が作成した直江津みどころガイドの情報が充実しており、これをうみまちアートのガイドと合わせて配布することとした。

**【笠原委員】**

- ・直江津地区連合青年会の直江津祇園祭ガイドマップがあるが、インフォメーションにおいてもらうことはできるか。

**【志賀参事】**

- ・他の団体からも同様の申し出をいただいております、問題ないと考えています。

**【五十嵐委員】**

- ・市内や市外におけるポスターの掲示箇所はどこか。

**【志賀参事】**

- ・市内は小学校や公共施設のほか商店街などをお願いしている。
- ・市外は各自治体、美術館などに送付するが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の点から、県外には送付しない。

**【五十嵐委員】**

- ・来場者は近隣の方々がメインになると思うが、チラシに駐車場を記述しないでよいか。

**【志賀参事】**

- ・駐車場は、有料無料問わず、ガイドマップに落とし込んでいる。
- ・チラシには入れていないが、ガイドマップはホームページからダウンロードできるようにする。

**【笠原委員】**

- ・有料駐車場の表記に誤りがある。

**【志賀参事】**

- ・内容を確認し、修正する。

**【濱口副会長】**

- ・マップの中に既存のアート作品が落とし込んでいるという話があった。この取組が終わった後にオブジェのようなものがどこかに残るとよいが、まずはこの取組を成功させてほしい。

(4) 予算の執行見込みについて

#### 【阿部課長・志賀参事】

- ・資料4「予算の執行見込み」に基づき、執行状況と協賛金の協力状況について説明。

#### 【志賀参事】

- ・実行委員会の予算は執行の見込みが立っている中で、協賛金については、予算を超える額をいただける見込みである。
- ・このため、いただいた協賛金の活用について3つご提案させていただく。
- ・一つ目は、新潟日報、上越タイムスに本事業のPRとともに企業様のお名前を掲示させていただく広告費である。
- ・二つ目は、これまで実行委員会予算はうみまちアートを開催する予算として支出すると説明してきたが、企業様から協賛いただいたこの事業に対する思いを地域の皆様にお伝えするため、地域の皆さんがおもてなしやイベントなどを実施する際の支援の経費としたい。また、その窓口には、「直江津まちづくり活性化協議会」にお願いしたいと考えている。
- ・三つめは、来訪者への移動支援としてバス運行経費としたい。

#### 【新井副会長】

- ・二つ目の各種団体の取組に対する支援について、直江津まちづくり活性化協議会の一員として、彦坂委員と相談した。
- ・アートの将来的な結びつきを重視し、直江津地域の小中学校、保育園の子どもたちにアートについて考えてもらいたいと考えている。
- ・直江津中学校では、中庭の空きスペースをどうにかしたいが、先立つものがないと聞いている。金額等の詳細については、実行委員会や事務局と相談するとともに、直江津まちづくり活性化協議会で検討していきたい。
- ・また、協賛金については、直江津地域の企業から本事業に協力したい意向があるが、その方法がわからないと聞いている。
- ・協賛金の案内がホームページに掲載されていることを我々は知らなかったことから、周知をしてもらいたい。

#### 【阿部課長】

- ・今回、協賛金にご協力いただいたのは、直江津地域に何らかの形で関わっている企業であるが、企業にお声がけする際に、市が一方的にお願いするのがよいのか、実行委員会の皆様と一緒にお願いするのが良いのか悩んでいる。今後、会長及び副会長に相談させていただきたい。

【彦坂委員】

- ・協賛金の募集について、いつから実施したのか。

【阿部課長】

- ・市予算の議決後の4月から実施した。

【彦坂委員】

- ・企業に声がけしたのは、正式なものという理解でよいか。
- ・我々が説明を聞く前に、協賛金が集まっているのはどういうことか。
- ・正式に募集がされていないのに企業名が挙がっているのはどういうことか。

【阿部課長】

- ・ホームページへの協力企業の掲載は、タイミングをみながら検討していく。
- ・募集の手続きが拙速だったということであれば、お詫びしたい。

【池田部長】

- ・企業版ふるさと納税は、制度を整えて、4月以降に声がけできる範囲でお願いしてきた。
- ・これは、悉皆的にお声がけできる体制が整っていなかったことによるものであり、頂いたご意見を踏まえ、対応を考えていきたい。

【五十嵐委員】

- ・作品の制作費が増額し、イベント費が減額しているのはなぜか。

【志賀参事】

- ・作品制作費や材料費、会場設営費などの細かな費目を積み上げて予算立てを行ったが、作家との実際の契約では、作品制作費の中に材料費や会場設営費が含まれることもあったことから、この認識の違いが、費目間の増減として表れており、イベント経費を減らして作品制作費につけかえたということではない。

【鈴木キュレーター】

- ・毎日、来ても楽しい場を作りたいと思っている。作家は、緊急事態宣言が明けた際には、持ち出しが発生したとしても皆さんと触れ合う機会を望んでいる。
- ・会場設営費については、こうした触れ合う環境を整えたり、そのためのリサーチ経費が含まれている。
- ・委員ご指摘のとおり、予算を付け替えたように見えてしまうかもしれないが、それを有言実行できるように取り組んでいきたい。

【新井副会長】

- ・広報費には、直江津活性化協議会が作成しているガイドマップの作成費は含まれているのか。

**【志賀参事】**

- ・うみまちアートのガイドマップと配布する部数を2万部と想定しているが、残部はあるか。

**【新井副会長】**

- ・1週間で1千部がエルメールで配布されるペースであるため、2万部の残部はない。早めに必要部数を教えてほしい。

**【志賀参事】**

- ・今回配布する2万部の経費は、広報費の中から支出したいと考えている。

**【新井副会長】**

- ・マップに掲載している店舗は、コロナ禍の影響から出店・閉店の動きが激しいため精査したい。

**【川上委員】**

- ・ガイドマップは、無印良品 直江津やうみがたりにも配置するような取組が必要ではないか。
- ・無料バスについても、まちなか回遊プロジェクトと連携しながら進めてほしい。

**【志賀参事】**

- ・バスの運行については、プロジェクトと調整し、当実行委員会にも伝達しながら進めていきたい。

その他の連絡事項

**【志賀参事】**

- ・ロゴデザインの活用、市民説明会の開催状況、会期中におけるインフォメーションセンター内の上越タイムス社常駐の件、シールの活用について報告。

**【志賀参事】**

- ・会議の閉会を宣言。